

# 温 泉 分 析 書 別 表

1 源 泉 名 : ひまわり温泉 (1号井)	
2 源 泉 所 在 地 : 北海道岩内郡岩内町字野東258番64 地目(山林)	
3 温 泉 分 析 申 請 者 : 北海道岩内郡岩内町字万代38番地の1 株式会社 ひまわり 代表取締役 岡田 久美	
4 泉 質 : ナトリウム-塩化物強塩泉 (高張性中性高温泉) (旧泉質名: 強食塩泉)	
5 療養泉分類の泉質に基づく禁忌症、適応症等は次のとおりである。	
浴 用	禁忌症 急性疾患(特に熱のある場合)、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中(特に初期と末期)。
	適応症 神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え症、病後回復期、疲労回復、健康増進、きりぎり、やけど、慢性皮膚病、虚弱児童、慢性婦人病。
飲 用	禁忌症 腎臓病、高血圧症、甲状腺機能亢進症、その他一般にむくみのあるもの。
	適応症 慢性消化器病、慢性便秘。
<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1; text-align: center; vertical-align: middle;">浴用、飲用の 一般的注意事項</div> <div style="flex: 2;"> <p>1 入浴の方法及び注意</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 熱い温泉に急に入ると、めまい等を起こすことがあるので十分注意をすること。</li> <li>(2) 入浴時間は入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分位とし、なれるにしたがって延長してもよい。</li> <li>(3) 入浴中は運動浴の場合は別として、一般には安静を守ること。</li> <li>(4) 入浴後は湯冷めに注意して一定時間の安静を守ること。</li> <li>(5) 高血圧の動脈硬化症、高血圧症及び心臓病の患者は原則として、高温浴(42℃以上)を禁忌とする。</li> <li>(6) 入浴後は身体に付着した温泉成分を水で洗い流さないのがよい。ただし、「湯ただれ」を起こし暑い人は逆に浴後寒水で身体を洗うか、温泉成分をふき取るのがよい。</li> <li>(7) 食事の直前、直後の入浴は避けることが望ましい。</li> <li>(8) 飲酒しての入浴は特に注意すること。</li> <li>(9) その他</li> </ol> <p>2 飲用の方法及び注意</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 飲用の1回量は一般に100mlないし200ml程度とし、その1日量はおおむね200mlないし1,000mlまでとする。</li> <li>(2) 一般には食前30分ないし1時間がよい。</li> <li>(3) 夕食後から就寝前の飲用はなるべく避けること。</li> <li>(4) その他</li> </ol> <p style="text-align: center;">適宜希釈して、食後飲用すること。(ヨウ素含有)</p> <p>◎ 温泉療養に際しては、医師の指導を受けることが望ましい</p> </div> </div>	
平成12年8月9日	
決定者 北海道保健福祉部長	

温泉分析書

道 薬 検 温 第 4 3 5 号									
1 申 請 者	北海道岩内郡岩内町字万代38番地の1 株式会社 ひまわり 代表取締役 岡田 久美								
2 源泉名および湧出地	ひまわり 温泉 (源泉名1号井) 北海道岩内郡岩内町字野東258番64 地目(山林)								
3 湧出地における調査および試験成績									
(イ) 調査および試験者	財団法人 北海道薬剤師会公衆衛生検査センター 阿部 悉慎								
(ロ) 調査および試験年月日	平成12年7月25日								
(ハ) 泉 温	62.4℃ (気温: 24.9℃) (ニ) 湧出量: 280 ℓ/min(動力揚揚)								
(ヘ) 知覚的試験	無色 澄明 強塩味 無臭								
(ホ) pH 値	6.7 (ト) ラドン (Rn) :								
4 試験室における試験成績									
(イ) 試 験 者	財団法人 北海道薬剤師会公衆衛生検査センター 吉田 博文								
(ロ) 分析終了の年月日	平成12年8月2日								
(ハ) 知覚的試験	微弱黄色 澄明 茶褐色の沈殿物有り 強塩味 無臭 (採水後22時間)								
(ニ) 密 度	1.0188 (20°/4℃)								
(ホ) pH 値	6.66								
(ヘ) 蒸発残留物	28.73 g/kg (180℃)								
5 試料1kg中の成分 : 分量および組成									
(イ) 陽イオン	ミリグラム (mg)	ミリバール (mval)	ミリバール% (mval%)	(ロ) 陰イオン	ミリグラム (mg)	ミリバール (mval)	ミリバール% (mval%)		
水素イオン	H <sup>+</sup>	-	-	フッ素イオン	F <sup>-</sup>	-	-		
ナトリウムイオン	Na <sup>+</sup>	8775.	381.7	77.46	塩素イオン	Cl <sup>-</sup>	15990.	451.0	91.22
カリウムイオン	K <sup>+</sup>	405.6	10.37	2.10	水酸イオン	OH <sup>-</sup>	-	-	-
アンモニウムイオン	NH <sub>4</sub> <sup>+</sup>	9.8	0.54	0.11	硫化水素イオン	HS <sup>-</sup>	-	-	-
マグネシウムイオン	Mg <sup>2+</sup>	842.0	69.28	14.06	チオ硫酸イオン	S <sub>2</sub> O <sub>3</sub> <sup>2-</sup>	-	-	-
カルシウムイオン	Ca <sup>2+</sup>	614.5	30.66	6.22					
アルミニウムイオン	Al <sup>3+</sup>	-	-	-	硫酸イオン	SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup>	1654.	38.60	7.81
マンガンイオン	Mn <sup>2+</sup>	-	-	-	炭酸水素イオン	HCO <sub>3</sub> <sup>-</sup>	254.2	4.17	0.84
第一鉄イオン	Fe <sup>2+</sup>	4.5	0.16	0.03	炭酸イオン	CO <sub>3</sub> <sup>2-</sup>	-	-	-
第二鉄イオン	Fe <sup>3+</sup>	0.8	0.04	0.01	ヨウ素イオン	I <sup>-</sup>	2.0	0.02	0.00
					臭素イオン	Br <sup>-</sup>	50.0	0.63	0.13
計		10650.	492.8	100.	計		18150.	494.4	100.
(イ) 遊 離 成 分 :		非 解 離 成 分		非 解 離 成 分		非 解 離 成 分			
非 解 離 成 分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)	非 解 離 成 分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)	非 解 離 成 分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)	
メタ珪酸	H <sub>2</sub> SiO <sub>3</sub>	180.6	2.31						
メタ硼酸	HBO <sub>2</sub>	26.1	0.60						
計		206.7	2.91						
溶 存 物 質 (ガス性のものを除く)		29.01 g/kg		溶 存 ガ ス 成 分		29.07 g/kg			
溶 存 ガ ス 成 分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)	溶 存 ガ ス 成 分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)	溶 存 ガ ス 成 分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)	
遊離二酸化炭素	CO <sub>2</sub>	59.2	1.35						
遊離硫化水素	H <sub>2</sub> S	0.0	0.00						
計		59.2	1.35						
成 分 総 計		29.07 g/kg		(ニ) その他微量成分		マンガンイオン: 0.030mg/l 亜鉛イオン: 0.003mg/l 総ヒ素: 0.002mg/l			
						アルミニウム、カドミウム、銅、鉛及び総水銀 検出せず。			
6 泉 質		ナトリウム-塩化物強塩泉 (高張性中性高温泉)		7 禁忌症、適応症		「温泉分析書別表」中5に記載する。			
平成12年8月3日						観 北海道薬剤師会公衆衛生検査センター			

